

WARNER BROS.
Presents

SPENCER TRACY

in

**Ernest Hemingway's
Pulitzer and Nobel
Prize-Winning Story**

"THE OLD MAN AND THE SEA"

Screenplay by
Peter Viertel
in

WarnerColor

Music composed and conducted by
Dimitri Tiomkin

Produced by Leland Hayward
Directed by John Sturges

Ernest Hemingway's remarkable *The Old Man and the Sea* arrives on the screen in a notable translation, starring Spencer Tracy as the indomitable fisherman. The story itself, with its many levels of interest and interpretation, is an epic of the human spirit that has been honored with not only the Pulitzer Prize but the Nobel Prize as well, and is as exciting in terms of adventure as it is in terms of the mind.

The Old Man and the Sea was written for the screen by Peter Viertel, and directed by John Sturges; Leland Hayward is the producer, and in addition to Mr. Tracy (who won Academy Awards for his work in *Captains Courageous* and *Boys Town* in two successive years) the cast includes Felipe Pazos as The Boy and Harry Bellaver as Martin.



The score for *The Old Man and the Sea* was composed and conducted by Dimitri Tiomkin, one of Hollywood's most distinguished composers. Mr. Tiomkin, who has won Academy Awards for his music for *High Noon* and *The High and the Mighty*, has written a surging score that reflects the many facets of the movie, at once melodic and searching, and one that superbly underlines the shifting moods of the sea and the splendid heart of *The Old Man*. This extraordinary music is conducted on this record by Mr. Tiomkin himself. Among his other memorable contributions are the scores for *Duel in the Sun*, *Lost Horizon* and *Search for Paradise* and many others.

STEREO



FIDELITY



ORIGINAL SOUND TRACK MUSIC
FROM THE MOTION PICTURE PRODUCTION
STARRING

SPENCER TRACY
THE OLD MAN AND THE SEA

FROM ERNEST HEMINGWAY'S PULITZER AND NOBEL PRIZE-WINNING STORY

PRESENTED BY WARNER BROS.

MUSIC COMPOSED AND CONDUCTED BY DIMITRI TIOMKIN



SRCS 7077 STEREO

Manufactured by Sony Music Entertainment (Japan) Inc. / and SONY are Registered Trademarks. (js) / WARNING: All Rights Reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

老人と海

THE OLD MAN AND THE SEA

作曲・指揮:デミトリ・ティオムキン

[1] THE OLD MAN AND THE SEA

老人と海 (2:41)

[2] COJIMAR HARBOR AND THE OLD MAN

コジマ港と老人 (3:25)

[3] THE BOY

少年 (1:16)

[4] FISHERMEN'S CANTINA

漁夫のうた (2:43)

[5] THE OLD MAN LOVED THE BOY

老人も少年が好き (2:00)

[6] THE FISHERMEN'S LAMENT

漁夫のなげき (1:59)

[7] AND THE OLD MAN ROWED
OUT TO THE OCEAN

老人は海へ漕ぎ出す (1:42)

[8] THE OLD MAN CATCHES HIS BAIT

老人は獲物にありつく (2:35)

[9] SUNSET AND RED CLOUDS

日没と夕焼け (2:20)

[10] I AM YOUR DREAM

僕は君の夢だ (2:43)

[11] A SMALL BIRD CAME
TOWARD THE SKIFF

小鳥が帆をよぎる (3:22)

[12] IN THE TAVERN AT CASA BLANCA

カサブランカの酒場 (2:20)

[13] JUST BEFORE IT WAS DARK

夜のとばりがおるとき (2:42)

[14] THE DUEL WITH THE FISH

魚との死闘 (4:45)

[15] THE SHARK FIGHT

サメの襲撃 (1:55)

[16] THE LOST FIGHT

敗戦 (1:51)

[17] CUBANA

クバーナ (1:12)

[18] FINALE

フィナーレ (1:48)

※アナログでは [1]~[9] までが A 面、[10]~[18] が B 面に収録されています。

●解説

〈映画「老人と海」〉

“彼は老人だった。メキシコ湾流にひとり小船を浮かべて魚をとっていたが、もう84日間というもの、雑魚一匹かからなかった……”。

映画はメインタイトルの「老人と海」([1])につづき、原作の書き出しの言葉が画面外から流れてはじまり、原作にきわめて忠実に展開する。

アーネスト・ヘミングウェイ(1898~1961)といえば、現代アメリカ文学を代表する作家。『誰がために鐘は鳴る』『キリマンジャロの雪』『陽はまた昇る』『武器よさらば』『殺人者』『持つと持たざると(脱出)』などめばしい作品は、片っ端しから映画化されてきた。それはみな行動的な小説で、映画にもなりやすかったが、1952年秋に出版されて評判になり、同年のベスト作として1953年にピューリッツァー賞を、1954年には世界最高の榮譽ノーベル文学賞を受けた『老人と海』だけはちがう。

この小説には場面の変化に富んだ動きというのが、ほとんどない。ひとりの老漁夫が釣りをするだけの中篇小説で、事件が事件を生むでもなく、非常に文学的で、非映画的な作品である。映画化されること自体が不思議なくらいなのに、ワーナー・ブラザースはヘミングウェイ作品では最高の25万ドル・プラス利益の3分の1という、巨額な映画化権料を払って獲得した。

プロデューサーはリーランド・ヘイワード、監督は『OK 牧場の決闘』を仕上げ、『荒野の七人』『大脱走』に先立ち、もっとも油がのりきった時代のジョン・スタージェス。脚色ピーター・ヴィアテル、撮影ジェームズ・ウォン・ホウ、音楽ディミトリ・ティオムキンのベスト・スタッフ。ほとんどひとり舞台の老人役はスペンサー・トレイシー、最初と最後の部分に出てくる少年がフェリペ・パリス、コーヒー店主がハリー・ベラヴァー。キャストはこの3人だけである。キューバにロケして作られ、アメリカでは1958年10月、日本では同年10月25日に公開された。ワーナーカラー、1時間26分。

ティオムキンのスコアはすばらしい。単調で文学的な語り口の映画が、彼のスコアのおかげで生きたようなものだ。まぶしいまでの陽光、うねる波、夜のじま、断続的な老人の思考、魚との格闘、サメとの死闘、平和な漁村のたたずまい。ダイナミックな曲想と幻想が交錯する。ティオムキンはこのスコアで、1958年度アカデミー劇音楽賞を受けた。ほかの候補作は『大いなる西部』『旅路』『ホワイ特・ワイルダーネス』『若き獅子たち』であった。ティオムキンにとっては1952年『真昼の決闘』の劇音楽と主題歌賞、1954年の『紅の翼』の劇音楽につづく4つ目のオスカーである。このサントラ盤はパーシー・フェイス楽団「無分別」のB面として、1958年10月に日本盤シングルが発売された。エルヴィス・プレスリーの「闇に響く声」が、ヒットパレードをにぎわしていたころである。

さて、村人たちは、もう老人はダメだと思った。はじめ、ひとりの少年が老人の舟に同乗していたが、不漁がつづく、両親のいっつけでほかの舟に乗り移ってしまった。しかし少年は老人が好きだ。「老人も少年が好き」(〔5〕)だ。少年が5つのとき、はじめて舟に乗せてくれたのが、この老人だった。老人は少年とひとり住まいの小屋で野球の話をする。そこが「少年」(〔3〕)。ジョー・ディマジオの話だ。老人はディマジオが返り咲いたことを話す。老人は不漁の自分もいつか返り咲くのだという不退転の決意をほのめかす。老人は毛布にくるまって寝る。若いころ、アフリカで見たライオンの夢を観る。「ぼくは君の夢だ」(〔10〕)——老人は、子猫のようにたわむれ、そして何物よりも強いライオンが好きだった。

「コジマ港と老人」(〔2〕)「漁夫のうた」(〔4〕)——朝、老人は漁夫たちがにぎやかに出漁してゆくさまを眺める。それにひきかえ、みじめな自分自身——「漁夫のなげき」(〔6〕)。ひとり残された老人の頭はまっ白で、身体じゅうシワだらけであるが、目だけが光り、不屈の闘志をたぎらせている。

その85日目、ひとり「老人は海へ漕ぎ出す」(〔7〕)。太陽が高くなったころ、「老人は獲物にありつく」(〔8〕)。それは信じられないくらいの重さがあった。網を引いても魚は引きよせられず、舟が魚に引きよせられてしまう。ずんずん沖へ出る。そのまま魚にひっぱられ、「日没と夕焼け」(〔9〕)が来た。「あの子がいたらなあ」、老人はつぶやいた。夜になった。魚は針路も

変えずにつき進んでゆく。老人はまだ魚の姿さえ見ていない。

夜明け前、魚は大波のようなうねりをみせたと思うと、引き網を肩から腕にまわしていた老人を、やにわにうつぶせに引き倒した。「なにしがやるんだ！ こんな無茶をして！」と叫ぶ。昼前、魚ははじめて一瞬その姿を海面に現した。太陽の光を受けて輝く銀の巨体。「この舟より2フィート（60センチ）は長いぞ！」。老人は呆然としてつぶやいた。マジキである。

鳥が輪を描いて舞う。「小鳥が帆をよぎる」(11)。老人は、どんな逆境にあっても屈しない。2日目も、大魚を追って、いや引きずられてすぎてゆく。網をたぐる両の手は、すりきれて、血が吹き出しているが、ゆるめようとしめない。腹は空き、眠ることもできないが、忍耐強く魚と闘う。老人は若いとき「カサブランカの酒場」(12)で、黒人と腕ずもうをしたのを思い出す。テーブルにチョークで線をひき、1日と1晩、勝負がつかず、2人は全力を出しあった。まわりにいた連中が引き分けにしようといいだしたとき、彼は全身の力をふりしぼって黒人をうち負かした。

「夜のとばりがおりるとき」(13)、魚はものすごい音を立て、何回も海上に跳ねあがり、ボートがすぎまじいスピードでひきずり廻された。老人は、こうなるのを待っていたのだ。いよいよ戦闘開始だ。魚は一晩中、死に物ぐるいに暴れつづけた。

老人が海に乗り出してから、3度目の太陽がのぼった。魚はさすがに

疲れたのか、しだいに落ち着いてきた。輪を描きながら、舟のまわりをゆっくりと廻る。そのたびに老人は網をたぐりよせる。魚はとうとう30メートルぐらい離れた水面に姿を現した。もう一步、近よればモリを打ちこめる。くらくらと目まいがする。口が乾ききって声も出ない。両手は血まみれだ。とうとう魚の口ばしが舟板に触れるほど近づいたとき、老人はモリをグサリとその横腹に突き立てた。「魚との死闘」(14)がつづく。死の痛手を負った魚は、急に生気を吹き返したかのように、老人よりも高く身をのけぞらせ、その力と美を惜し気もなくみせる。魚から吹き出す血で海は真赤になる。ふと気がつくと、魚は銀色の腹を出して、あおむけに浮かんでいた。老人にはその大きさが信じられなかった。700キロはゆうにあろう。ずいぶん多勢の人間の腹が肥やせるだろう。だが、その人間たちに、奴を食う値打ちがあろうか。あるもんか。あの堂々たる振舞い、あの威厳。老人は舟のへさきに魚の頭を、ともに尻尾を結びつけ、帰途についた。丸2日2晩ぶりであった。

血の匂いをかぎつけた最初の「サメの襲撃」(15)は、それから1時間ほどのちであった。カミソリのような鋭いアゴが、ガブリと魚の尾にかみついたとき、老人は自分の命がちまるような苦痛を感じた。憎悪をこめ、老人はサメの脳ミソめがけてモリを突き立てた。サメは全身をふるわせ、海底へ沈んでいった。

夕暮れ近くに2匹、日没前に1匹、つづいてまた2匹、サメは襲って

きた。老人は疲れも忘れて撃退しようとし、サメは魚の肉を食いちぎっては逃げる。老人はサメにモリをとられた。こんどはオールのさきにナイフをつけて、サメの群れに挑みかかる。最後のサメを追い払ったとき、あの見事な魚は台なしに食い荒らされていた。もう半分もない。「敗戦」(116)だ。

老人はもう、息をするのも苦しかった。「夢のほうがよかった。釣れなければよかった」。いまはただ、舟をあやつって港へ帰るだけ。街には夜空に照り返しをみせていた。「クバーナ」(117)——キューバの街だ。村は近い。

老人は、人間がなしうることと、人間が忍びうることを同時にやってのけた。港に入るとき、つぶやく。「人間は負けるように出来ていない。破壊されることがあっても、負けることはない」

坂道をのぼりながら、老人がふとふり返ると大きな尾と黒い頭部が見えた。その中間は白骨だけである。

まるめた帆をかつぎながら歩く老人は、いくたびも腰をおろし、やっと小屋にたどりついて、死んだように寝てしまう。朝、老人が目をさましたとき、ベッドのかたわらに少年がコーヒーをもって、じっと坐っていた。「また2人で一緒にゆこうよ」、「だめだ、わしはもう運に見放された」、「運なんかなんない、ぼくが運んでくるよ」

老人は再び眠りに落ちた。老人はライオンの夢を見ていた。——「フィナーレ」(118)。

＜ディミトリ・ティオムキン＞

今日のハリウッド映画音楽をきずきあげた巨人である。ドミトリー・A・チヨームキン（ロシア語発音）は、1894年、ロシアのウクライナに、富裕な医者の子として生まれ、ピアニストだった母に、幼いころからピアノの手ほどきを収め、長じてサンクト・ペテルブルグ（レニングラード）音楽院で、ロシアが生んだ大作曲家グラズノフに教えを受けた。革命で“ソ連”になった故国をのがれ、ベルリンでピアニストとしてデビュー、1930年2度目に訪米したとき、MGMからバレエ音楽の作曲を依頼されてそのまま住みつき、いらい映画音楽約160本を手がけた。1979年11月11日、ロンドンの自宅で骨盤骨折のため死去。85歳。

主要作品 ③7失われた地平線 ③8我が家の楽園 ③9スミス都へ行く ④2疑惑の影 ④7白昼の決闘 ④9赤い河 ⑤2真昼の決闘 ⑤4ダイヤルMを廻せ、紅の翼 ⑤5ピラミッド ⑤6ジャイアンツ ⑤7OK牧場の決闘 ⑤8リオ・ブラボー ⑥0許されざる者、アラモ ⑥1ナバロンの要塞 ⑥3北京の55日（以下製作のみ）⑥9マッケンナの黄金 ⑦0チャイコフスキー（ソ）

〔日野康一〕

この解説はアルバム発売時に掲載されたものに加筆・訂正を加えてあります。御了承下さい。

●原盤ライナー・ノーツ

アーネスト・ヘミングウェイの傑作『老人と海』が、映画化されスクリーンに届けられた。不屈の漁師を演じるのはスペンサー・トレイシー。原作のストーリーは、さまざまなレベルで解釈が可能な、人間の魂の一大叙事詩であり、ピュリッツァー賞ばかりかノーベル賞までも獲得している。冒険譚としても、心理ドラマとしても、同様にエキサイティングな作品だ。

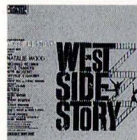
『老人と海』の脚色にはピーター・ヴィエルテルがあたり、ジョン・スタージェスが監督した。プロデューサーはリーランド・ヘイワード、またミスター・トレイシー（『我は海の子』と『少年の町』で2年連続アカデミー賞を獲得した）に加え、少年役でフェリペ・パゾス、マーティン役でハリー・ペラヴァーが出演している。

『老人と海』の音楽は、ハリウッドきっての名手、ディミトリ・ティオムキンが作曲と指揮を手がけている。『真昼の決闘』と『紅の翼』の音楽でアカデミー賞を受賞したミスター・ティオムキンは、映画の諸様相をみごとに捉えきり、メロディックであると同時にシャープなスコア——移り変わる海のムード、そして老人の高潔な魂をあますところなく表現した音楽を書き上げた。この素晴らしい音楽が、このレコードではティオムキン氏自身の指揮で演奏されている。彼が手がけた作品としては、ほかに『白昼の決闘』『失われた地平線』『Search For Paradise』等々、枚挙にいとまがない。

BEST VALUE LINE
2000

THE ORIGINAL
SOUNDTRACK
SERIES

¥2,000(税込定価)



ウエスト・サイド物語
WEST SIDE STORY
圧倒的な迫力の群舞、シャープな音楽、リアルなテーマ——ミュージカルの歴史を塗りかえた、これぞ不滅の名作！アカデミー・ミュージカル音楽賞受賞
SRCS 7070



マイ・フェア・レディ
MY FAIR LADY
言わずと知れたミュージカルの傑作。名曲・名唱のオンパレード。アカデミー編曲賞受賞
SRCS 7071



戦場にかける橋
THE BRIDGE ON THE RIVER KWAI
戦争とは何か？ヒューマニズムとは何か？英・米・日の軍人像を通じて戦争の無意味さを追求する不朽の名作。アカデミー音楽賞受賞
SRCS 7072



アラモ
THE ALAMO
アメリカ西部開拓史上、最も壮烈な戦いといわれたアラモ砦の攻防を、壮大なスケールで描くジョン・ウェイン渾身の大作
SRCS 7073



ナバロンの要塞
THE GUNS OF NAVARONE
第2次世界大戦下のエーゲ海、難攻不落の要塞に敢然と挑む6人の将兵——アリスティア・マクリーンの代表作を鮮やかに映像化した冒険映画の秀作
SRCS 7074



パリは燃えているか？
IS PARIS BURNING?
1944年夏、ナチの占領下にあったパリが、連合軍、レジスタンス、市民の手で解放されるまでを描く超大作
SRCS 7075



ボギーとベス
PORGY AND BESS
不世出の名作曲家、ジョージ・ガーシュワインの『フォーク・オペラ』を最高のスタッフとキャストで映画化。アカデミー・ミュージカル音楽賞受賞
SRCS 7076



老人と海
THE OLD MAN AND THE SEA
ピュリッツァー賞、ノーベル文学賞を受賞したアーネスト・ヘミングウェイの名作を忠実に映像化。アカデミー音楽賞受賞
SRCS 7077



マッシュ
MASH
『マッシュ』は映画に音がついて以来、最高のアメリカ戦争喜劇だ。（ポーリン・ケラー）——朝鮮戦争を舞台に、戦争の愚かさをオフレートに描き出す
SRCS 7078



エデンの東/理由なき反抗
A TRIBUTE TO JAMES DEAN
1955年9月30日、ボルシェ・スバスターに乘ったまま若くしてこの世を去った“永遠のスター”ジェームズ・ディーンの映画音楽を集成
SRCS 7079

コンパクト・ディスクの取扱上のご注意 ①レーベルの反対側の光った面にレーザー光線をあてて信号を読みとりすから、この面を汚したり傷つけたりしないようご注意ください。②汚れがついたときは、柔かい布で軽く拭きとってください。従来のレコード用スプレーやクリーナーは、使わないでください。③ディスクを拭く場合は、円の中心または外側に向かって布を動かします。円周の方向には拭かない方が安全です。④レーベル面に鉛筆、ボールペンなどで文字や記号を書きこまないでください。⑤このコンパクト・ディスクのケースは、70℃以上になると変形するおそれがあります。直射日光の当る所、暖房器具の近くなど、高温の所には保管しないで下さい。特に、車のリヤトレイなどへの放置はご注意ください。また、湿気の多い所も避けて下さい。